

デイケアの正式名称は「通所リハビリテーション」で、その名のとおり医師の指示のもとリハビリを行うことが目的です。サービスの目的として「身体機能の回復」、「維持、日常生活の回復」、「認知機能の改善」といったことが挙げられます。



理学療法士は、立ち上がる、起き上がる、歩く、寝返るなど、基本となる体の動作のリハビリテーションを行います。例えば、平行棒を使っての歩行訓練、ベッドから起き上がる動作の訓練などのリハビリテーションがあげられます。しかし、超高齢社会を迎える日本において、理学療法士は機能の回復を図るだけでなく、「健康を維持する」「悪化を予防する」事などを目的としての活躍も求められています。

作業療法士は、日常生活をスムーズにするための応用的動作のリハビリテーションを行います。ここで言う応用動作とは「食事をする」「顔を洗う」「料理をする」「字を書く」等の生活する上で必要不可欠な動作の事を指します。作業療法士ならではの特徴として、精神分野のリハビリテーションを行うという事があり、精神科の病院などで活躍する作業療法士もいます。



「梅」の花がきれいですね



『100歳』おめでとうございます



鬼は外 福は内

節分

「節分」よもやま話

節分(せつぶん、せちぶん)は、雑節の一つで、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のこと。節分とは「季節を分ける」とも意味している。江戸時代以降は特に立春(2月4日頃)の前日を指す場合が多い。

一般的には「鬼は外、福は内」と声を出しながら福豆(煎り大豆)を撒いて、年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べる厄除けを行う。また邪気除けの柊、鰯などを飾る。